

# サンビレッジ大垣 通信

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当法人の運営に格別のご高配賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、サンビレッジ大垣も開設2年目を迎えました。今年度の事業目標のご報告、及び職員紹介を行いたいと思います。

《2007年度》

## 運営方針

何時でも、何処でも、誰もが安心できるサポートサービスを構築しよう  
地域生活、地域ケアの在り方を再考し、ニーズに即した柔軟なサービスの遂行

## 事業目標

- ① 小規模事業所の連携、地域の社会資源との連携、協力により地域の福祉的ニーズに対する柔軟なサービス提供の遂行
- ② 本体施設、他職種との連携による多面的なアセスメント、徹底した自立支援の実施による軽度認知症高齢者に対する在宅生活の継続支援
- ③ 経営、運営の透明性を担保すべく、積極的な情報公開の実施

昨年度は、新規開設事業であるサンビレッジ大垣において、ソフト面(ケア)を確立させることに重点を置いて参りました。また、職員配置を介護保険法の基準(利用者3名に対し、職員1名)に近い人員配置での運営にも取り組んで参りました。これは、少子高齢社会の進展が進む中、福祉だけが手厚い人材を求めることに困難が予測される為です。「基準に近い人員で、いかに生活満足度を下げないか」を模索してきました。アクティビティの充実化により生活の楽しみも増え、また手を出しすぎないケアにより、自立支援も図られているのではないかと感じております。

さて、今年度は、地域生活の継続、地域ケアの在り方を模索して参りたいと考えております。サンビレッジ大垣内で生活が完結することなく、利用者お一人おひとりが地域の一住民としての生活が出来るよう様々な取り組みを行って参ります。是非、ご家族の皆さまのお力添えをお願いいたします。

サンビレッジ大垣 施設長 桑原 陽